



人口と世帯数 (12月1日現在)		人口の動き (11月分)	
●人口124,103人(+58)	●世帯48,731戸(+69)	●出生 76人	●死亡 119人
男 61,145人(+26)	( )は前月比	●婚姻 77組	●離婚 14組
女 62,958人(+32)		●転入 280人	●転出 179人



そうた  
**碧太**ちゃん 平成22年12月生

前原昇・絵美子さん(山形町)



りょう  
**諒**ちゃん 平成20年8月生

青山健太郎・友子さん(犬伏新町)



暁(こう)ちゃん 平成20年6月生  
結(ゆう)ちゃん 平成22年12月生

八重樫圭・文さん(栃本町)



力輝(りき)ちゃん 平成20年10月生  
愛(あい)ちゃん 平成22年9月生

坂本三郎・和歌子さん(石塚町)

赤見城跡は、赤見町(町屋)に所在する平城跡です。『野州安蘇郡根古屋唐沢丑ケ城東西南北目付』唐沢山神社文書)には、城の規模は東西約450m、南北約360mに及び、複数の曲輪が築かれていた様子が記されています。現存は本丸跡のみですが、貴重な史跡として市の文化財に指定されています。

築城は平安時代末の治承2年(1178)、足利俊綱によるとされます。源平合戦における寿永2年(1183)の志田義広の乱では、志田方の城として源頼朝と戦い、また室町時代において、古河公方と関東管領上杉氏

が対立した享徳の乱では古河公方方の城として、戦いの舞台となっています。

永禄2年(1559)に佐野氏の支配下に置かれると、唐沢山城の支城として、足利長尾氏に対する備えの役割を担いました。

天正18年(1590)、豊臣秀吉の小田原・北条氏攻めの際、秀吉の側近・佐野天徳寺宝符が、北条方から唐沢山城を奪還した後、天正20年(1592)に隠居する際には赤見城を隠居所と定めて一時居住しています。

その後、慶長19年(1614)の佐野家改易とともに廃城となり、400年以上続いた歴史に終わりを迎えます。

**赤見城跡**

No. 33 国指定史跡を目指して!  
生涯学習課 ☎(86) 3495 からさわやまじょうせき



▲本丸跡を囲む土塁と堀

介護付 有料老人ホーム **みおき** 体験入居 3日間無料キャンペーン中

**本年もよろしくお祝い致します**

嘱託医が、健康管理いたします  
終の棲家として、安心して暮らしいただけます  
24時間365日、介護職が常駐

**フリーダイヤル 0120-653-214**  
堀米町820-5 (清澄高校すぐそば)

ご見学はいつでも遠慮なくどうぞ  
ホームページ <http://tbcss.co.jp/>

